

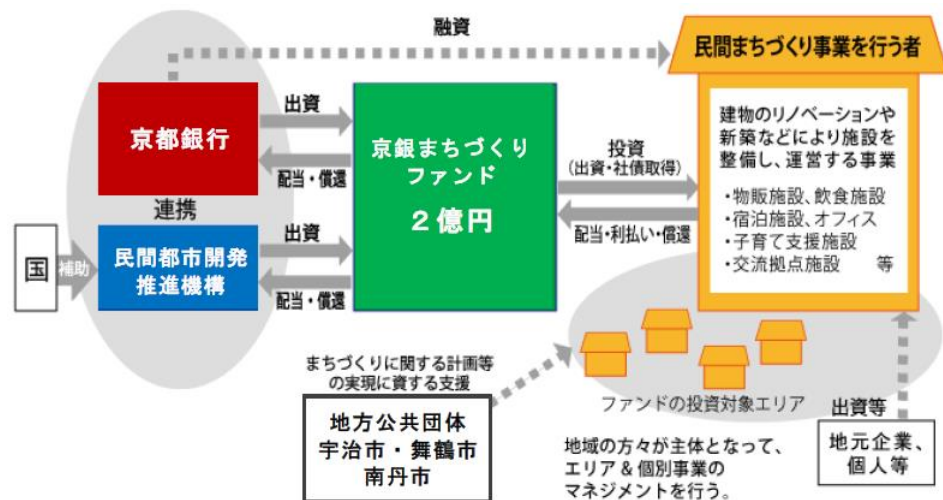
観光・地域活性化支援①

京銀まちづくりファンド

2021年1月に一般財団法人 民間都市開発推進機構との共同出資により、「京銀まちづくりファンド有限責任事業組合（京銀まちづくりファンド）」を設立しました。

「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」エリアの玄関口・中核地域である宇治市（中宇治エリア）、舞鶴市（東舞鶴エリア）、南丹市（美山町エリア）を投資対象エリアとし、古民家や空き店舗、空き公共施設などをリノベーションして、宿泊・商業・交流施設などへ整備する事業を対象に投資し、「地域の持続的な発展」につなげてまいります。

「京銀まちづくりファンド」のスキーム図



第1号 案件	投資先	宇治観光まちづくり株式会社
	エリア	宇治市
	概要	地域交流拠点としての機能やまちづくりに関するコンサルティング機能を備えた拠点を整備
第2号 案件	投資先	ニシオサプライズ株式会社
	概要	茅葺き古民家物件2棟を一棟貸宿泊施設として整備
第3号 案件	投資先	鶴ヶ岡まちづくり株式会社
	概要	古民家物件2棟をレストランを併設した宿泊施設、一棟貸宿泊施設として整備
第4号 案件	投資先	昇苑くみひも
	概要	古民家を改修し、独自の製造方法でつくる「ロースト抹茶」を使った商品を提供する専門カフェを開設

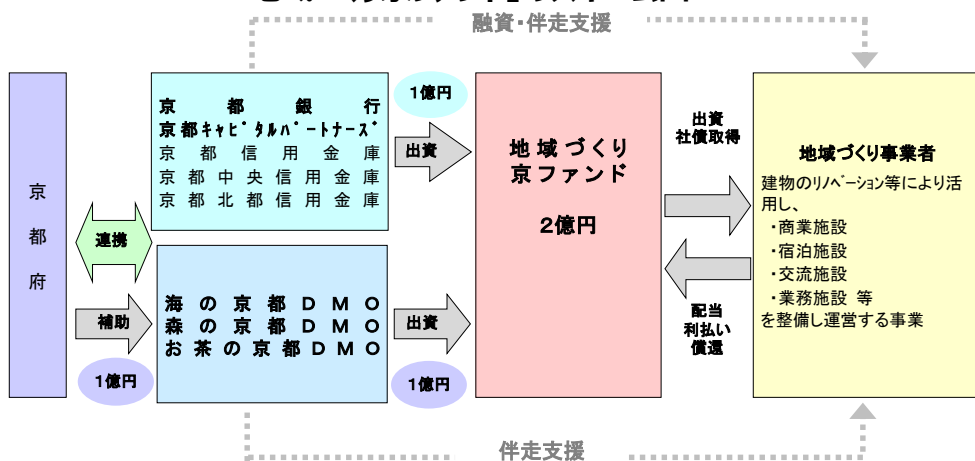
観光・地域活性化支援②

地域づくり京ファンド

2021年3月に海の京都DMO、森の京都DMO、お茶の京都DMO、京都府下4金融機関等との共同出資により「地域づくり京ファンド有限責任事業組合（地域づくり京ファンド）」を設立しました。

オール京都での連携・協力体制を一層強化し、古民家や空き公共施設などの地域資源をリノベーションして活用するなどの持続可能な地域づくりの推進に資する事業を対象に投資を行い、伴走型の支援により地域づくりに寄与してまいります。

「地域づくり京ファンド」のスキーム図



〈伴走支援事例〉

投資先への継続的な伴走支援の一環として、地域づくり京ファンドより投資を受けた京丹後市の刀鍛冶工房の株式会社日本玄承社と地元事業者の協業により生み出されたアート作品を展示し、地元の伝統工芸品の販路開拓を支援しました。

名称	「日本刀×新素材レジン」展
期間	2023年7月3日～7日
場所	本店営業部 1階ロビー
展示内容	レジン封入された日本刀、書のレジンボード等



第1号案件	投資先	株式会社 中川住研
	エリア	宮津市
	概要	テレワーク可能な会員制宿泊付きワーケーション&サテライトオフィス&コワーキングスペース施設を建設
第2号案件	投資先	株式会社 日本玄承社
	概要	京丹後市 日本美術刀の作刀拠点・観光・体験拠点として活用できる刀鍛冶工房を建設
第3号案件	投資先	D - m a t c h a株式会社
	概要	和束町 日本茶の本場で長期滞在しながら茶業を学ぶことができる宿泊施設、古民家一棟貸宿泊施設を整備
第4号案件	投資先	株式会社 K O K I N
	概要	舞鶴市（西舞鶴エリア） 高単価・高付加価値の一棟貸宿泊施設、ワーケーションにも適した宿泊施設を整備
第5号案件	投資先	株式会社ローカルフラッグ
	概要	与謝郡与謝野町 自社ビール工場を新設し、独自のクラフトビールを製造・販売

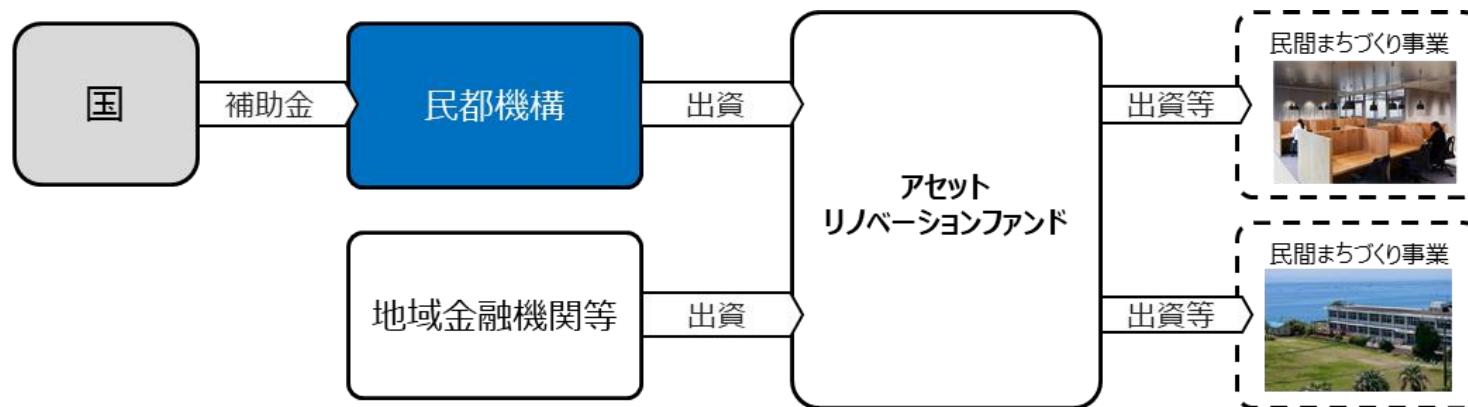
アセットリノベーションファンド

2022年2月に、一般財団法人 民間都市開発推進機構と地域金融機関等が連携して組成を行う「アセットリノベーション投資事業有限責任組合（アセットリノベーションファンド）」に出資しました。

築20年以上の建築物を活用したサテライトオフィス、シェアオフィス、テレワーク施設やグリーン・オープンスペース等の整備を含む民間まちづくり事業及び脱炭素社会実現に資するリノベーション事業を対象に投資し、「地域の持続的な発展」につなげてまいります。

2023年度は、事業者からの建築物の活用相談等を通じて、投資案件の掘り起こしや案件組成に向けて取り組みました。

「アセットリノベーションファンド」のスキーム図



注：本ファンドに出資している地域金融機関等については、下記のとおり。

無限責任組合員（G P）：株式会社OHANAPANA（NECキャピタルソリューション株式会社100%出資）

有限責任組合員（L P）：株式会社京都銀行、株式会社常陽銀行、株式会社南都銀行、株式会社広島銀行、株式会社十六銀行、株式会社百五銀行、一般財団法人民間都市開発推進機構、NECキャピタルソリューション株式会社（順不同）

観光・地域活性化支援④

観光関連事業者向け融資

観光活性化を資金面から支援するため、観光産業に携わる事業者様向け専用ローン「京銀観光支援特別融資〈賑わい〉」を取り扱っています。また、京都府・京都市では、内閣府から「京都市地域活性化総合特区 豊かな文化と自然のもと、世界中から人々が集う、『ほんもの』に出会う京都～5000万人感動都市へ～」の特区指定を受けており、2013年4月から、金融上の支援措置として「総合特区支援利子補給金制度」を活用できることとなりました。

「京銀 観光支援特別融資〈賑わい〉」商品概要

ご融資金額	5億円以内
お使いみち	運転資金／設備資金
ご融資期間	運転資金：7年／設備資金：最長20年 ※設備資金で10年を超えるお申込みは、別途ご相談ください。
ご融資利率	変動金利／固定金利 ※固定金利期間は最長10年とし、以降は変動金利となります。
ご返済方法	元金均等返済（設備資金の場合は元利均等返済もご利用いただけます。）



※ご利用に際しては当行所定の審査があります。審査の結果によりご希望にそえない場合がありますので、ご了承ください。

「京都市地域活性化総合特区に係る総合特区支援利子補給金制度」概要

対象	旅館・ホテル、料亭、土産品小売店、寺社仏閣等の新設、改修・増改築、設備の整備等の設備投資	※京都市内での事業に限る
利子補給率	最大0.7%	
支給期間	5年間	ご融資期間 5年以上
ご融資利率	変動金利／固定金利	

※利子補給制度を利用するには、内閣府の審査が必要です。審査の結果、対象とならない場合がございます。

「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」における総合特区支援利子補給金制度についても、当行は指定金融機関として取扱いを行っております。

2023年の京都府内の観光客数は7518万人となり、新型コロナウイルス禍前の水準を上回り、2019年以降過去最高に。2024年もインバウンド需要の好調から相当数の伸びが予想されており、引き続き、観光関連事業者のサポートに取り組んでまいります。

丹後地域の地域通貨アプリ「Tango Pay」

経済産業省の「令和5年度中小企業地域経済政策推進事業費補助金（地域DX促進環境整備事業）」の一環で、京都・丹後地域で利用できる地域通貨アプリ『Tango Pay（たんごペイ）』を2024年1月より提供しています。

道の駅 丹後王国「食のみやこ」をはじめとする丹後地域内の計78施設（9月1日時点）の飲食店やショップ、観光施設等の検索機能やアプリ限定の割引特典等を提供。丹後地域への観光客誘致を促進し更なる地域活性化を目指すとともに、地域通貨を活用した観光モデルを全国に展開することで、地域のDX 推進に寄与してまいります。

地域通貨アプリ『Tango Pay』概要

- 対象者 主に丹後地域を訪れる観光客・丹後地域の住民 ※居住地域や現在地に関わらずどなたでも利用可能
- 対象地域 京都府 丹後地域（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）
- 機能 【アプリ利用者向け】 キャッシュレス決済、地域内コミュニケーション（加盟店からの限定情報・割引特典等の受け取り等）
【加盟店向け】 データ活用（ユーザー属性に応じた広告掲載、アプリ内メッセージ送信、アプリ利用者の購買データ利用等）

Tango Pay



観光情報アプリ

地域の交通情報や、季節のイベント情報の提供、観光施設・グルメ店舗の検索、クーポンの提供など

キャッシュレスアプリ

キャッシュレス決済、口座／クレジット／店頭チャージ（一部店舗）

I Love Kyoto・I Love Shiga キャンペーン

「歴史都市・京都」の素晴らしさを再発見し、将来にわたってまもり育てていこうという趣旨から、1982年より「I Love Kyotoキャンペーン」を展開し、作製したポスターは509種類、約71万枚を数えます。また、2013年より滋賀県において、滋賀の四季折々の心豊かな情緒や風情を皆さまに幅広く伝えるため「I Love Shigaキャンペーン」を展開しています。



白川の桜 異橋付近(東山区)



新緑の宇治上神社(宇治市)



なぎさ公園の芝桜(大津市)



左義長まつり 日牟禮八幡宮
(近江八幡市)